

EIA STEO December.2020

Highlights

・12月の短期エネルギー見通し（STEO）は、COVID-19への対応が進化し続けているため、依然として不確実性のレベルが高まっています。COVID-19パンデミックに関連する経済活動の低下は、2020年にエネルギーの需要と供給のパターンに変化をもたらし、今後これらパターンに影響を及ぼし続けます。米国の国内総生産（GDP）は、2020年上半期に前年同期から4.4%減少しました。GDPは2020年の第3四半期に上昇し始め、このSTEOは、2020年から2021年に3.1%成長すると想定しています。この見通しにおける米国のマクロ経済の想定は、11月初旬に完了したIHSMARKITによる予測に基づいています。

・11月のブレント原油のスポット価格は1バレルあたり平均43ドル/bで、10月の平均から3ドル上昇しました。ブレント価格は、複数のCOVID-19ワクチンの実行可能性に関するニュースと、OPECおよびパートナー国（OPECプラス）が2021年1月に計画している増産を遅らせるか制限するという市場の期待により、11月に上昇しました。

・米国エネルギー情報局（EIA）は、ブレント価格が2020年の第4四半期の予想平均43ドル/bから2021年には平均49ドル/bになると予測しています。来年の原油価格上昇の予測は、EIAの予想を反映しています。在庫は高止まりしますが、世界的な石油需要の増加とOPECプラスの石油生産の抑制により、在庫は減少します。EIAは、ブレント価格が2021年の第1四半期に平均47ドル/bになり、第4四半期までに平均50ドル/bに上昇すると予測しています。2021年の第1四半期の平均は先月のSTEOの予測よりも5ドル/b高く、第4四半期の平均は1ドル/b高くなっています。予想される第1四半期の価格の上昇は、2021年1月に以前に計画された増産を制限するという12月3日のOPECプラス決定の結果として予想される世界の石油在庫の減少を反映しています。EIAは、高い世界の石油在庫レベルと余剰原油生産能力が、2021年の大部分を通じて石油価格に対し、上昇圧力を制限すると予想しています。

・EIAは、OPEC原油生産量が、2020年の推定2,560万b/dから2021年は平均2,750万b/dになると予測しています。この増加は、OPECが発表した生産目標の潜在的な増加とリビアでの生産増加を反映しています。12月3日の会議で、OPECプラス加盟国は、2021年1月に予定されている石油生産の増加を制限することを決定しました。OPECプラスは、2021年1月に生産目標を50万b/d増やすと発表しました。グループは当初、目標を200万b/d増やすことを計画していました。また、世界の石油市場の状況や石油需要を毎月評価し、市況に応じて目標を調整します。EIAは現在、2021年の第1四半期のOPEC原油生産量は平均2,570万b/dであり、11月のSTEO予測より170万b/d低く、OPECプラス目標の発表された変更と目標のより効果的な想定コンプライアンスを反映していると予測しています。

・EIAは、世界が11月に9,560万b/dの石油および液体燃料を消費したと推定しています。これは2019年11月から630万b/d減少していますが、2020年第3四半期の平均である9,350万b/dから増加しています。EIAは、石油および液体燃料の世界の消費量は、

2020年全体で平均9,240万b/dであり、2019年から880万b/d減少し、2021年には580万b/d増加すると予測しています。

・EIAは、11月の米国の原油生産量は1,120万b/dであり、9月（過去のデータが入手可能な最新の月）の1,090万b/dから増加していると推定しています。この増加は主に、ハリケーンに係る混乱後の米国連邦メキシコ湾での生産量の増加を反映しています。EIAは、米国の原油生産量が2021年3月に1,100万b/d未満に減少すると予測しています。これは主に、ここ数ヶ月で既存の坑井での生産率の低下が、今後新たに掘削された坑井からの生産量を上回ると予想している下位48州での生産量の減少によるものです。EIAは、石油価格の上昇に応じて掘削が増加するため、米国本土48州の原油生産量が2021年2月の870万b/dから2021年12月の910万b/dに増加すると予測しています。この増加は、2021年12月に米国の原油総生産量が1140万b/dに達することに貢献しています。EIAは、米国の原油生産量が2019年の1,220万b/dから2020年には1,130万b/d、2021年には1,110万b/dに減少すると予測しています。